

KT師重賞本命と見解「クイーンS」

非根幹距離の小回りコース。血統馬券のセオリー通り非サンデー系の馬から。

今年同様、2013年に函館で行われた時も
非サンデー系でノーザンダンサー系のファルブラヴ産駒が1、2着。

3着も非サンデー系のタニノギムレット産駒。

いずれも欧州指向のスタミナ、馬力勝負にも強い血統。

本命は非サンデー系のフェアリーポルカ。

父ルーラーシップは当レース向きのスタミナ、馬力勝負に強い産駒も出す種牡馬。

近親のトゥザヴィクトリーはクイーンS勝ち馬。
さらに、G1勝利は400mで割れない非根幹距離で行われたエリザベス女王杯。
同じく非根幹距離で小回りコースの有馬記念でも3着。

古馬になって成長。牝馬の活躍馬も出す牝系。

他はディープ産駒。推定1、2人気のマジックキャッスル、テルツェットは
非根幹、小回りコースで大幅にパフォーマンス下げるタイプではないので消せません。
相手本線はこの2頭。